

入善町 議会だより

3月定例議会

No. 43号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



風がおる
さわやかな
ひととき

ページ案内

3月定例会で決定したこと 2ページ~3ページ
町政一般質問 4ページ~14ページ
常任委員会審査報告 14ページ~15ページ
討論 16ページ

昭和59年度 予算決まる

第16回定例会 3月議会

3月定例会のあらまし

3月議会は3月8日から14日間の会期で開催し、昭和59年度一般会計予算をはじめ31議案を審議、「入善町情報公開条例」とそれに関する条例2議案を議会閉会中の総務委員会付託継続審査としたほかはすべて原案どおり可決した。



駅南団地

※昭和59年度入善町予算(別表)
1億円以上の主要事業は
坂野小学校建設 (3億7千600万円)
町民会館用地取得 (3億50万円)
駅南団地建設 (1億2千266万円)
離岸堤設置 (1億5千731万円)

可決した 主な 議案

※入善町税条例の一部改正
個人町民税の基礎控除や扶養等
人的控除を引き上げ税の軽減を図
るもの。



町民会館建設予定地(役場北側)

※入善町老人憩いの家条例の廃止
老人福祉センターの完成に伴い
廃止することとした。



老人福祉センター

※低開発地域工業開発促進法施行
に伴う固定資産税の課税免除に
関する条例の一部改正
製造の事業の用に供する設備の
取得について従来1千200万円を
1千500万円まで3ヶ年間課税免除
とした。
※入善町長選挙公営立会演説会条
例の廃止
公職選挙法の改正により条項が
削除されたため廃止する。
※土地取得について
坂野小学校建設のための用地5
千90坪、8千261万円取得するこ
ととした。
※老人福祉センター条例の制定
老人の健康増進を図るため、管
理運営や使用料を定めた。
(老人1日200円の入所料)



明治記念館

※入善町重度心身障害者福祉年金
 条例の一部改正
 従来、重度心身障害者に支給する年金を8千円から1万円に改めた。
 ※入善町母子及び父子医療費の助成に関する条例の一部改正
 従来助成の義務教育終了迄から高校卒業するまでと改めた。
 ※入善町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
 し尿収集、運搬手数料18円につき70円を20円につき87円とした。
 ※入善町明治記念館設置条例を制定
 置野功労者米沢紋三郎翁茶室などの寄付を受けて管理運営条例を定めた。(場所 武村福祉会館南側)

昭和59年度予算総括表

(単位：千円)

区分	59年度予算額(A)	58年度当初(B)	対当初伸率(A/B)%
一般会計	5,564,000	5,770,500	96.4
国民健康保険会計	1,092,900	1,002,900	109.0
老人保健医療会計	1,433,850	1,358,570	105.5
簡易水道会計	15,080	14,340	105.2
育英奨学資金会計	2,120	2,640	80.3
土地取得会計	5,610	5,660	99.1
分譲宅地会計	2,600	2,540	102.4
墓地公園会計	9,960	7,860	126.7
計	8,126,120	8,165,010	99.5



○請願 ○陳情 審査結果

請願第1号
町道舗装並びに集落排水改修方
請願(笹原) (採択)
請願第2号
農作業銀行設置事業に伴う活動
補助に関する請願(採択)
請願第3号
町道神子沢中央線沿いの集落排水
水路改修方請願(採択)
請願第21号
たばこ、塩専売制度並びに公社
制度の存続に関する請願
(採択)
陳情第1号
市街地域の用水路の確保と排水
路整備に関する陳情(採択)

議会日程誌

- 2月
 - 1日 議会だより編集委員会
 - 13日 町民会館建設特別委員会
 - 20日 議員行政視察 (福岡県春日市)
 - 21日 議員全員協議会
 - 22日 議員全員協議会
 - 24日 議会運営委員会
 - 27日 文教厚生委員協議会
 - 28日 産業建設委員会
- 3月
 - 2日 県町村議会議長会理事会
 - 8日 議員全員協議会
 - 第16回入善町議会定例会 (初日)
 - 10日 議会運営委員会
 - 13日 議会定例会 (二日目)
 - 14日 総務委員会 (三日目)
 - 15日 総務委員会
 - 16日 産業建設委員会
 - 17日 総務委員会
 - 19日 文教厚生委員会
 - 21日 文教厚生委員会
 - 議会定例会 (最終日)
- 4月
 - 11日 県町村議会議長会理事会
 - 12日 行政視察 (沖繩)
 - 13日 総務委員会
 - 16日 正、副議長
 - 20日 中央官庁陳情
 - 21日 町民会館建設特別委員会
 - 23日 議員全員協議会
 - 24日 議員全員協議会
- 5月
 - 11日 議員全員協議会



いっばん 質問



町政執行に対する 基本姿勢を問う

石川昭男議員(自民)

自民党代表質問

野中 小学校舟本君、飯野小学校諸橋君の事故死に対し哀悼の意を表し、二度と生じないよう最善の配慮を望む。さて我が町の一般会計予算は対前年度比マイナス3.6%と31年財政整備団体の指定を受けた翌年以後のことだ。しかも昨年11月にローリングされた総合計画実施計画では59年計画予算は60億4千30万円、その差4億7千910万円となっているが、その原因は何か。さらに起債と債務負担行為は57億9千万円だが、今後も借り入れが続くとすれば財政硬直の要因となる。また財源の見通しであるが、財源の柱である住民税の減税の影響はないのか。地方交付税は2年連続減額になっている。国庫支出金もまた2年連続の減少だが、これこそ政治的手腕が要求される。さらに財政調整積立金は59年末で12億4千万円位となるが、飯野小学校、町民会館に充当すると0になる。従って、今後行わなければならぬ総合計画事業に大きく影響し、これら財源問題で弾力性ある行政運営は出来るとは考えられない。国庫支出金をはじめ財源の確保に努力し、町民のニーズに応えるべきでないか。

町長

実施計画の減額要因は、町民会館建設2億円ほか君島山寺線新設改良等投資的事業費である。財政運営上健全財政を堅持するには公債比率が20%超えると借り入れが制限されるし有り得ることではない。自主財源を強化し借金依存財政を脱皮して行きたい。58年度に比べ町債を1億8千万円余りも減額、農道整備は単年度補助するなど後年度負担の軽減を図っている。税収は53年以降7%、12%と順調に伸びているが個人住民税は税制改正で伸びはない。反面法人軽自動車税の税収が増えている。国では82%の増収を見込んでいるが交付税会計の借り入れ金を差し引いて交付されるので減額になり、今後も大巾な伸びは期待出来ない。財政調整積立金は58年度末で18億円位だが、町民会館や、飯野小学校で取り出すと13億4千万円位になるが、今後も町民会館等大型のものがあるので、国庫補助の獲得に努力し一般財源を少なくして行きたい。

教育長

事故を起こしたこと陳謝申し上げ、今後の対応について小中学校長を集め協議している。

問

行政執行上の諸施策を尋ねる。
一、町長は常日頃、文化という言葉を使われるが、文化を町政、町民ニーズにどう反映されるのか。
二、今2市4町の圏域で富山テクノポリス(高度技術産業の集積した都市)開発構想がスタートしている。これをどのように理解し町としてとるべき方策があるのか。
三、老人福祉センター開館後は、高齢者のスポーツ振興や生涯教育のカリキュラムを固めるべきでないか。
四、61年から着手することになっている入善駅前から国道8号線を結ぶ道路の住民対応は遅れていないか。さらに道路整備だけではなく区画整理を含めた施策は必要でないか。



五、他用途米の割当は県平均より反当55kg増だ。その経緯と今後の対応はどうするのか。

町長

一、公共建物工事費に1%の文化予算を投入、指定樹木の保存、じょうぶへのま遺跡公園の建設、あるいは町出身芸術作家などの作品購入など創意工夫し文化行政を推進したい。
二、知事はテクノポリス構想の波及効果を県下全体に及ぼしたいとしている。新川広域圏は地域的にやむを得ないが将来の実施に向けて運動して行く。
三、ゲートボール場設置や各種教室の実施など利用者の要望に応えて計画したい。
四、中央通り線の早期着工に向けて努力しているし、線的だけではなく、建設省の外郭団体である都市計画協会に面的を含めて調査依頼を進めている。

農政課長

五、他用途米の限度数量の基準配分について県に抗議を申し込んでいるが、直ちに調整される見込みはない。助成については農協等相談しながら定めた。

問

厳しい地方の時代における町長のリーダーシップを発揮するには行政と住民相互のコンセンサスが必要だ。開かれた町政、住民参加、議会と町は車の両輪と自ら言いながら、昨今の町政運営の進め方にはこれが欠けている。町民会館の建設、職員の昇任試験、職員企業派遣、行政改革、情報公開など他の要因があるにしろ対応過程に問題がある。特に情報公開はブラ

イバシーの保護と表裏一体をなすものと考える。

町長

執行部と町議会は車の両輪の形でお互いに切磋琢磨しながらまた相手の立場を尊重しあうよう円滑な

行政課題と今後の対応

大 林 政 雄 議 員 (自 民 派)

問

国家、地方を問わず政治家たる者が常に公正無私、誠を以ていかに些細なことと言えども周到に立案計画し、実施に当たっては過去を踏まえて将来の変化を洞察する政治哲学を堅持しなければならぬ。今、町民会館を建設せんとするがこれは真に町民の要望であったか、原点到ち返り議会を含めて再考する必要があるか。新総合計画樹立のため全世帯にアンケート用紙の配布、各地区での対話集金の開催。その要望の主たるものは災害対策、保健医療の充実、道路整備、老人福祉対策などであった。議会にもこの問題を討議するため特別委員会を設置されたが、町長の意向を押し通す場所との違いが生じている。不退転の決意で臨むと言明の後、二転三転する発言これらの原因はどこにあるのか。この施設の発想は町全体の施設の有機的配列に考慮されたのか。町民各層の声を聞かれたのか。建築資金や5千万円から1億円といわれる維持

管理費、入善町将来像の位置付けなどいかに考えるのか。

町長

私の政治哲学は町民が町政の主人公である故に清潔、公正でしかも開かれた町政、町民が参加する町政と、物事が現象として起こってからはなして、声なき声を聞き形なきを見ることだ。町民会館を建てるのは中央通り線の着工、中央公民館の老朽化、町の将来像である活力とうるおいに満ちた文化の町入善をつくるためだ。武村福祉会館あるいは勤労者福祉センターなどもあるがその不足部分を補足しなければならぬ。また発電事業に伴う7億5千万円を原資に総事業費20億円前後となるがこれに充てるのが一番良いと思う。維持管理については、人員増や3名にとどめ、管理費、収入を差し引いて2千万円位と言ったのは買取単価や議会の町民会館建設特別委員会中間報告の関係もあり検討する必要上だ。役場との一体化

用途地域内の再開発、生涯学習の拠点としていく。また財政的に問題があれば図書館を後年度に選したい。なおアンケートについて、設問の仕方にも問題があるうかと思うが、意見として尊重して行かねばならない。声なき声を聞き形なきを見ろという気持ちで町民会館と取り組んでいる。

問

情報公開条例は全国で革新首長を中心に7市町実施されている。基本的に賛意するが若干の疑念を持つ。それは国や富山県では未だ法律、条例を制定していないが指導等あったのか。また県外ではこの条例施行によって訴訟や悪用されるなど問題も起きている。さらに川崎市では、市民外に見せることで行政がいたずらに左右されることになり商工会議所や企業等反対している。我が町にも企業が沢

山あるがこれらの理解も必要でないか。企業秘密がもれるようでは今後の工場誘致に影響する心配もあることや公開費用も伴う。

町長

情報公開は国や県の指示を受けていない。それは国、県、市町村はお互いに独立しているためだ。国ではいち早くこの制度の策定することで自民党、新自由クラブで合意している。富山県でも準備が整い次第行おうと説明している。ただ案文については兼務職員一人と72万円計上しているが財政に影響するものではない。この公開は戸籍など法で禁止されているものや個人に関するものは否である。また企業などの秘密は漏らしてはならないが、秘密的なものはほとんど持っている。

再質問

条例案文中、通常又は不当など曖昧な言葉が多くあるし規則や総目録を見せないで審査はできない。

町長

総目録などは、整理し議員に後日配布したい。

問

町長は町政を臨む基本姿勢の第一に、まず行革をあげ行政審議会の提言を尊重し、予算編成でも事務の見直しまた機械化、補助金の整理統合など反映したとしている。本議会は勿論のこと、決算委員会も予算や施政方針に対し意見を付けている。何も審議会を否定はしないが議会との整合性、さ

町長

内部審査機構だけでは見方があまくなるとの議員の指摘もあり行政審議会を設立し提言を受けて来た。設立について自治省へ電話したが住民の権利、義務などを制限するような内容の審議会でない限り審議会の議決は不要との解答を得た。町政を審議するとすれば議員は上位と理解しており協力を願いたい。

財政課長

補助団体は約50件約6億7千万円で予算の10%以上だ。日常からの議員の指摘事項を踏まえて今年約10件185万円補助減額した。

問

59年より合口用水路の改修の運びとなった。同要に填えないことだが工事の施工に当たって地元要望、請願の整理も必要であり上局機関とどのように接渉されているか。資材拠点輸送の見地から町道小杉、墓ノ木線は幅員も狭く拡幅改良が必要と思うがどのように対応されるのか。





町長
地元要望について国、県、改良区などと問題を詰めているが、順次解決して行くと思っている。町

産業振興をより積極的に

池原 金与志 議員(自民)

問
国の厳しい予算は末端行政へ影響することは必然だ。活力と魅力ある町づくりには国、県からの新規事業の獲得と自主財源の確保が必要である。多種多様な住民ニーズに応えるには農、工を中心とした産業振興策に今少し耳を傾ける姿勢が必要だ。農工一体化構想に対する基本的考え、農産物の定着指導、工場誘致の展望、既存工業の拡大に対する見通し、中小企業

の育成、農業種団地造成に対する考えについて尋ねる。

関連質問 野坂俊一議員(自民)
新総合計画には非常に立派なことが書いてあるが、農業予算はほど遠い感じがする。まず昔10後収穫出来たのに今は9俵と全く地力が低下している。さらに将来農地銀行あるいは農作業銀行をどのように進めながら生産者(中核農家)を育成するのか。次に3千800戸の農家は指導されなくとも65億円位の収入を得ることが出来る。安定価格と流通の整備は最も大事ではないか。

町長
農業については町段階でどうにもならないことが沢山あるが、単に拱手傍観はしていない。中核農家の育成や生産条件を整えるのに町ぐるみの機械利用、生産技術や営農指導には県や農協と連絡を取りながら生産組織ごとの指導を図って行きたい。既存企業の増設に当たっては舟見ヘアリングや黒部工業などが拡張、農業種団地では現在操業中のミハトをはじめ佐藤アンブル、三日市縫製、北日本モーターが近日着工の予定でありその効果を期待している。今後も地域住民のコンセンサスを得て工場誘致に努めたい。なお企業の新増設の奨励措置として町単による助成制度を検討しその実現に全力を傾注したい。

農政課長
農業の振興計画は58年8月に国の認可を受け農地の利用、生産基盤の整備、農地の流動化、施設の整備、農村生活環境整備と5つを柱に10ヶ年計画を定めている。中核農家の育成対策として協議会を設け3回のセミナーを実施、流通の整備についても集出荷体制の整備、契約栽培、市場との交流、特に宣伝など行い効果も出てきている。

問
飯野小の児童死亡事故は前例のないことであり残念である。警備保障会社へ委託しているためこのような突発的事故が発生した場合、勤務時間外は校内に入れないことになっている。今後あつてはならないことだが検討を要するのではないか。例えば土曜日は午後5時まで管理人を配置するのも一つの方法でないか。学校警備について警備会社とどのようなシステムとされているのか。

町長
事故を起こしたことは遺憾に思っている。管理の体制強化には御説を尊重して行きたい。

教育長
警備管理については帰りの先生

が各部屋のカギを閉じ電源を入れ電流を流し異状があれば会社に連絡されることになっている。セツトされた状態で人が部屋にいて動けば機械が作動し報知する。しかし動かねば作動しない。この盲点をつかれた形で事故が起きた。機械は機械で人が警備する程弾力的な対応は出来ない。宿直を置くということとは、効果があるということだが小学校では女子の先生が大半を占めているので、別の面で補足しながら現行の警備委託で最善を尽くしたい。

学校管理の責任は

岡島 松次郎 議員(自民)

問
56豪雪にまさる今年の大雪。野中小学校の舟本君の死亡。再度起こった飯野小学校の諸橋君の死亡。地元、PTA、警察の懸命の捜査に拘らず校内工事室ボリ容器の中で発見された。午後一時頃母親が学校へ電話されたが担任は「帰りましたよ」。何等巡回せず、帰宅した。また担任は毎日の掃除の終わった後見回らないのか、さらにそのような遊びを知らなかったのか。各学校はそれぞれの生徒が登校、下校、校内での休けい時間の遊び等学校に管理責任がどういう処にあるのか。

町長
死亡事故を起こしたことは誠に残念である。両名の冥福を祈ると同時に二度とこのようなことのないよう留意したい。

教育長
諸橋さんを探すのに芦崎地区また校下の方々の協力に感謝する。学校の管理は校長が現場の最高責任者となり各職員が相互理解のもとに全員協力して当たらることになっている。管理責任を問われることになるが県教委、町の教委はそれぞれ行政的立場で問題を考えている。警察において事情聴取が行われているが調査は完全に終わっていない。しかし道徳的責任は十分感じており事故の反省と再発を防止



を防止

地下水対策を問う

若島信行 議員(自民)

するために全力を挙げている。担任は非常に教育熱心であり当日の掃除時間にテストの成績が悪い子供を個別指導をしており、諸橋君一人で図工室へ行っていた。居残り勉強をやめて帰りの会を開いているが諸橋君のいないのを確認していなかった。廊下にカバンなどあったということも気づかず居残りの5人を家まで送り届けている。気がつきすぎ、要を見失った。掃除など一緒に行っていたらこういうことはなかったとも思う。子供達は先生がこないか見張りを立

て遊んでいた。

再質問
これから法要等つとまると思うが少しでも両親の気持ちなどをさめるようお願いする。また保険についての適用も十分考慮願いたい。

教育長
災害補償については許される範囲のものを給付して頂くよう全力を挙げて行きたい。遺族のなぐさめについては一日一回市問するこ

問

さる二月中旬より小摺戸地区の地下水位は異常な低下を呼び井戸枯れをした。この原因は色々想定されるが愛本堰堤工事で黒部川本流の流量が少ないことや、上飯野のパチンコ店や異業種団地もそれらでないかと取沙汰されている。異業種団地で一社操業しているが敷地内の消雪水のたれ流しで、県道は自動車のブレーキも効かない時もあった。企業は雨水排水でも側溝を作り処理した上で排水路へ流すのが常識である。どのように指導しているのか。また川沿いの地区は黒部川の流水との因果関係は大きい。これから行われる国営かん排事業が原因で墓ノ木自然公

園への慣行放流もなくなるようだ。58年度より東京の研究所に地下水調査を委託されているが、その中間報告等は来ているものか。地下水問題は小摺戸地区だけではなく全町の視野に立つての行政指導と住民コンセンサスが必要と思う。

町長

指橋のとおり小摺戸地区で三つの簡易水道が井戸枯れした。3月10日前後より復水したと聞く。今町は個人井戸を含めて濁水の状況を全地区に渡り調査している。近日に集約できるものと思っているが、本町は表流水の見通しを立てることは大切であり、今の時点で



福島地内

発電所の発電水は本流に戻すので地下水にあまり影響はないと思っ

ている。しかし小川に分水される毎秒41の水はどのように影響するかなど含め、総合的な水の調査を日本システム開発院に委託している。中間報告はまだ届いていないがこれを参考にしながら地下水表流水問題と対処したい。昨年8月筑波大学の教授と黒部川扇状地研究所のシンポジウムの時、話したことだが、教授では当分全町の井戸枯れの心配はないとの発言であった。井戸枯れは愛本堰堤の補修工事も原因の一つとは思っているが全体的には思わない。異業種団地はその原因と思っていないが工場誘致と共に地域住民のコンセンサスを図りながら井戸の掘削に当たりたい。委託先の調査結果を参考にし、将来は地下水の規制も考えられる。

商工水産課長

企業には節水に努力するよう行政指導を考えて行きたい。

廻る姿勢、清掃等加わる姿勢が必要だ。校長自身が遊びを知らなかったことや子供が危険なことを知らないで遊んでいたことが今度の問題となった。今後の安全教育は学校、家庭を含め協力し合い危険を認識させて行きたい。登下校の確認について自宅等に電話をさせたりなどし、この教訓により二度と発生しないよう徹底したい。

飯野小学校の事故死はこれを追及するのではなく、教訓として日常抜本的な教育のあり方を深く掘り下げる必要が肝要でないか。教師と生徒が一心同体となって学びそして遊ぶなどのふれ合い姿勢が欠如しているのではないか。校長自身がポリ容器遊びを知らなかったと述べている。反省すべき点として下校時の生徒の確認や清掃を生徒に任せきりであったこと。学校側の始めと終わりの点検、確認していたら防げたのではないか。

再質問
上青小学校で児童が悪戯をしたということ、6時すぎまで講堂に立てらせた忘れていたということがあったが。

教育長
子供と教師が渾然一体となることが大切である。教師は常に見て

生徒指導に行き過ぎがあったことは聞いている。度を越さないよう指導したい。

離岸堤を早急に

西尾三郎 議員(自民)



問

入善海岸は延長11kmだ。町が管理する14kmの離岸堤はかなり進行しているが建設省の管理する10kmは進んでいない。建設省は46年入善海岸に離岸堤築造66基の投入計画を示したが、以来永い年月にも拘らず23基と全体の35%にすぎない。今年3基であり、あと10年余もかかることになる。海岸沿いに住む人々は絶えず危険な思いをして

いる。少なくとも5ヶ年位で完了

するよう強く国に働きかけを願いたい。

町長

早期建設について関係住民の方あるいは独自で陳情を重ねている。しかし、国家財政が緊迫しており進捗率の向上が望まれないが、2月27日の高波による被害が吉原、柳原間離岸堤あるいは田中や春日に於ける消波工の被災について災害査定を受けて復旧しているところだ。さらに離岸堤設置について先般も関係区長と地連に行き陳情しているので、事業費の伸びが期待される。

問

建設省が46年に海岸保全整備するに当たり護岸堤、消波工、副堤、5mの管理道路、更に背後地30m幅で塩害防止のため、防潮林の計画発表がなされている。町独自でも防潮林に努力しているが限度がある。国の事業として促進する必要があるかないか。

町長

町の総合計画でも塩害防止のため防潮林計画をもっている。幅30mで用地を適当な価格で買収または賃借出来る地区から国の保安林指定を受けて取り組みたいので、59年の総合計画ローリングの段階で具体化して行きたい。

問

建設省は護岸堤などの保全監視のため幅5mの管理用道路を整備している。この道路は農業また漁業等にも使われるが、舗装してないため路面の損傷は激しく通行に

難儀している。補修について地元から要請しているが進まない。舗装についても早急に施工するよう働きかけられたい。

町長

将来舗装するという計画はあるが波浪に対する防護が第一であり舗装は二次的なものにならざるを得ないが努力して行きたい。

問

今冬の豪雪は道路やその標識、

ガイドレールなど大きな損傷をもたらし、雪どけ後は大変危険な状態である。特に簡易舗装道路は甚しい。早急な補修をお願いする。

町長

耐用年数が過ぎて簡易舗装延長は30km位と想定している。早急に修復する必要がある。59年度予算で対応して行きたい。

他用途米に補助金を

松沢孝衛議員(自民)

問

今年より第三期転作に他用途米が取り入れられたが、その割当数量は北陸農政局管内で一番高い。近年の地力低下による減収から見ると納得は出来ない。どのような経緯で割り当てになったのか。また他用途米について県下市町村や農協でも価格を上乗せ補助するところもあるが町は考えているのか。さらに配分について大きい農家のみに負担が生じるようないか。

関連質問 野坂俊一議員(自民)

他用途米が割り当てになることは12月以前から解っていた。生産組合に示めされたのは2月10日である。その間どのように指導されたのか。県下の反収が490kgなのに当町は55kgも余計安い米を背負わねばならないことは、総額にして3千万円余りが損失となり、

その助成策をどのようにされるのか。

町長

県の平均よりも上廻っていることに對し非常に不満を持っている。しかし、割り当てを返上することでは問題の解決にならないし余剰米、食糧会計等考えると止むを得ないところもある。地力増強には山土の搬入や有機質肥料の投入等がある。有機質肥料は水田耕作農家と酪農家間におけるパートナー交換的なものを従来より県補助を受け事業をしているので更に推進したい。

農政課長

限度数量と他用途米の売り渡し量の基準は同一である。他用途米は転作面積の中にあり配分量が少なくなれば一般転作が多くなる。他用途米の配分は目安として書いた

ものであり集落ごとの実情で対応されたい。農地面積の把握のため配分が遅れた。助成策についてはどうしたら一番良くなるのか検討して行きたい。

町長

我が町には自然環境等生かした観光資源はない。町長の見聞から造る観光への推進の具体策はなにか。県下の他市町では住民総ぐるみの祭典を行っている所もある。本町も特産物等を生かした取り組みをすべきではないか。

町長

合併30周年記念事業の一環として行った運動公園のチューリップフェアは今年も引き続き行いたい。このように町の特産宣伝の他に舟見、入善の七夕祭り、墓ノ木及び舟見山の自然公園の整備などに力を入れていきたい。

問

今年度予算は前年度に比べマイナス3.6%の減額であり国庫支出金は25%、県支出金は19%のマイナスだ。かかる時期に町長の給与を値上げする理由は何か。また収入役と教育長の給与を同額としてい

る。収入役、教育長は同格ではないと思うが。

町長

町内各界各層で構成している特別報酬審議会を開催したらという声を聞いたので白紙で諮問した。町長について、審議会では56年4月から据え置きになっていたことや他市町との均衡、職員の給与改定など勘案された。また教育長は教育問題は入善町の重要課題であるため、教育長の一層の奮起を期待し収入役と同額とした。大変厳しい財政状況下だが意見を尊重し提案した。

行政サービスを向上せよ

広瀬義孝議員(自民)

石川県能登野田村の村営有線テレビ事業や、千葉県沼南町のマイクロボスを利用した移動窓口サー

ビスの実施等、近年住民と行政のコミュニケーションを豊かにし、火災や災害などの緊急連絡を円滑に進めるための事業が各地で進め





問 今入善高校の生活料が廃止と発表された。現場の意見を十分聞き県当局と交渉をされたのか。今後の学級増と農業科の将来等の対応について、十分検討していただきたい。

町長 行政サービスはその地域にあったものを必要に応じて対応させることが大切だ。先進地の実態など調査、研究し行政サービスの機械化などについては、十分検討していききたい。情報の伝達がそのまま被害の大きさに直結するという問題もあり、防災行政無線の整備調査等の結果を踏まえ、災害防止と情報システムの問題と対応していきたい。

問 活力とるおいに満ちた文化のまち入善の都市機能の一つとして、下水道はどうしても必要な時期にきている。近隣市町でもすでに、工事を進めているところもあるが、終末処理場という一本の形で処理をする場合、大要な経費がかかる。維持費など、コストの面からも、コミュニティプラントあるいは、浄化槽という小さなプラント計画など、今後の下水道を考えるに当たっては、町の地形等も考慮され十分調査の上進めるべきでないか。

町長 経費がかかっても住民が健康で

下水道を整備せよ

五十二里 隆 章 議員(自民)

問 応は、どのようにするのか。また現在生徒の志望校への流れはどのようになっているのか。

町長 県より59年度から生徒が増えるのでそれに対応して学級増に努力したいということで、管内中学校長、高等学校当局との意見を聞いたところ、そこでは生活料を残してほしいという要望が強かった。町としては生活料を残し、普通科を2学級増やし、希望を強く要望していたが、結果的には普通科は2学級増になったが、生活料が廃止されることは残念である。また農業科の将来については、歴

史と伝統のある農業科を卒業しても、農業に従事してないのが現状であるが、3年間農業を勉強したことは有形無形の形で本町の農業経営を支えるバックボーンとなっていると理解している。本年からは男女共習となった農業科を将来にわたってなくさないという基本的な考え方に立って、県当局と交渉に当たっていききたい。

問 快適な生活を維持していくための下水道整備は極めて肝要だ。事前の調査、研究等順序を追って計画し実施するには、少なくとも3カ年以上はかかると思う。計画区域の範囲については、街路中央通り線の改良等も絡みがあり対象の所をこれから十分調査し、計画に当たっていききたい。

町長 田中地内では高波の被害、潮風被害が非常に多い。地元のためだけでなく、将来の入善町防潮林計画を進める第一歩として、昨年町が購入した不燃物の埋め立て予定地を海岸沿いの用地と交換分合し、

史と伝統のある農業科を卒業しても、農業に従事してないのが現状であるが、3年間農業を勉強したことは有形無形の形で本町の農業経営を支えるバックボーンとなっていると理解している。本年からは男女共習となった農業科を将来にわたってなくさないという基本的な考え方に立って、県当局と交渉に当たっていききたい。

問 59年度予算は農村モデルや箱もの事業の完了も起因するが、前年比較しマイナス3.6%とかつてない緊縮予算だ。町長は行財政審議会の二次にわたる提言を受け補助金の減額されたものがあるが、大巾に伸びているものもある。また農村福祉会館や新しく出来た老人福祉センターの人員費は大巾に伸びている。

町長 負担金補助及び交付金は250件約6億9千万円となっている。今年も10件185万円減額したが、精査検討し連青、連婦、児童クラブなど増強した。新規には農作業銀行の運営に補助した。農村福祉会館は町民との接遇上また老人福祉センターは初めの管理体制上それぞれ課長代理クラスを張り付けた。

総合的な交通対策を

福沢 万次 議員(社会)

問 防潮林に転換できないか。

町長 田中地内で購入した土地は、当初不燃物の埋め立て用地として買収したという経緯がある。防潮林の造成には、基本的には賛成するものだが、関係の皆さんの協力により地元意向がまれば新年度で対応していききたい。



問 59年度予算は農村モデルや箱もの事業の完了も起因するが、前年比較しマイナス3.6%とかつてない緊縮予算だ。町長は行財政審議会の二次にわたる提言を受け補助金の減額されたものがあるが、大巾に伸びているものもある。また農村福祉会館や新しく出来た老人福祉センターの人員費は大巾に伸びている。

町長 負担金補助及び交付金は250件約6億9千万円となっている。今年も10件185万円減額したが、精査検討し連青、連婦、児童クラブなど増強した。新規には農作業銀行の運営に補助した。農村福祉会館は町民との接遇上また老人福祉センターは初めの管理体制上それぞれ課長代理クラスを張り付けた。

問 地取得が出来ず市に浮いている。国や県に補助や起債を働きかけて来ており、着工出来なく次年度へ繰延べした時、許認可に影響はないか。さらにこの会館の使用について住民の声を聞いているのか。運動公園の場合何か小さい物を買求め準備するにも、時間と労力に無駄が生じる。早く敷地の決定を望む。

町長 補助金獲得については大蔵省の米沢主計官や知事に陳情している。町の理由で見送るということになれば町政全体に悪影響があることを心配しており議会の理解を得れば59、60年に完成したい。利用者側の意見についてはあらゆる機会に聞くようにしている。用途地域内の開発については県の指導もあり心配される駐車場は350台は確保出来る見通しが立ち、新年度早々決めた。

問 富山県ではテクノポリス（技術集積都市）開発計画を策定中だ。富山、高岡に集中され益々地域差が生ずる。我が町もこれら地域に取り残されない開発構想を持ち県へ働きかけるべきでないか。

町長

県では開発指定地区に限定することなく全県的に波及効果が及ぶよう努力したいとの県議会の答弁だ。知事に要請しているが新川広域圏でも対応できるような受皿を整備し、知識集約型の産業を支援で勝負する気持ちで進みたい。

問

入善町の交通体系整備について尋ねる。

一、将来の道路網計画とする入善東部、中部、西部の3路線は8号線や高速道路等とどのように連結するか。

二、河川堤防上の舗装について計画はあるか。

三、入善駅に特急停車の本数増と通勤通学の便利にダイヤの改正を運動すべきである。

四、将来バス運行の廃止も予想されるので手だてが必要と思う。

五、消雪に河川水を有効利用する考えは。

六、交通問題を審議するため交通運輸委員会を設置する必要があるか。

町長

一、市街地東部から門山菅又地内までの道路新設を考えている。
二、板屋から生地入善線までの堤防を町道と認定し舗装したい。

三、スキー場へ行くのに臨時停車をさせるなど成果を見ているので今後も努力したい。

四、むつかしい問題だが考慮して行きたい。

五、今、地下水や表流水の実状を調査委託しているところだが、河川水使用の消雪は検討しなければならぬ。

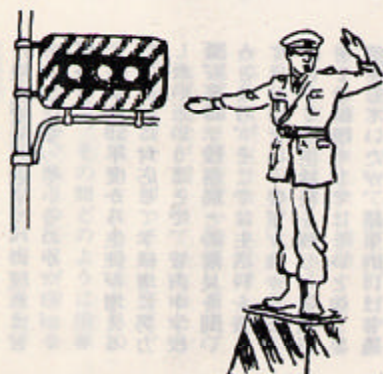
六、富山県の交通運輸労働組合協議会や関係団体から申し入れがあり交通運輸委員会の設立を検討したい。

問

地方公務員の60才定年制は60年3月からスタートするが、我が町の対応はいつ頃か。

町長

6月議会を目標に提案したいが、新陳代謝を計る人事管理上暫定定年を設けざるをえない。男女の定年格差などは他市町の状況も勘案しなければならぬ。



「行革」から

町民のくらしを守れ

九里郁子 議員 共産

問

国の予算は30年以來29年ぶりの超緊縮予算だ。しかも社会保障、教育など国民生活関連部門のみを削減したものであるが、末端の行政を預かる町長に町政執行に臨む基本姿勢を伺う。

一、中曾根首相は教育臨調ともいえる教育改革をあげているが、どのように受け止めているか。

二、行財政改革の名のもとに町長は目的を果たした補助金を廃止したというところであるが、58年廃止にした軍関連の補助金が復活している。

三、職員の企業派遣研修をどのように考え、また提案理由で述べられた近代的行政能力とは。

四、58年11月にローリングした新総合計画の実施計画では、老人福祉センター送迎バス一台購入することになっていたが説明ではスクールバスと併用することになっている。時間的に学校と重なることも心配されるが。

五、町長はじめ三役の給料は平均5%、議員報酬8%の引き上げ幅は適当と思うか。

六、福岡県春日市の議員行政視察に職員も参加させたが日程、行動、成果など詳しく報告されたい。

町長

一、教育のあり方で欠陥があればそれを是正していくことは非難すべきでない。

二、軍関連入善支部に於いては繰越金もあったので58年一時減額していた。広い意味での社会福祉であり3万円を復活させた。

三、職員企業派遣は3年目である。今年には課長職を対象としたい。近代的な行政能力とは、近年のコンピュータ等の使用をもって行政の能率を上げるべきことを表現している。

四、福祉バスは当初考えていたが、兼用しながら運用し問題があれば検討する。

五、職員のアップ率は5%位だ。白紙で報酬等審議会へ諮問したが意見を尊重し予算化をした。

六、研修効果について必要があれば書類を閲覧されたい。

問

情報公開について尋ねる。

一、情報公開は何のためにするのか。

二、条例案は一ヶ月半の間は何の説明もなく3回に亘って訂正されたその部度中味が悪くなっている。

三、公開しないことが出来る情報として「行政上の取組み、検査、入札等の情報」となっているが、



事後も公開しないとの解釈ができる。事後は公開が当然であり、明確にするために「事前に」の字句を入れるべきである。

四、公開するのは58年4月以降に作成または取得し永年保存とされている情報と限定したのは。

五、条例案は運用状況について公表するとしているが、議会へ詳しく報告すべきものと考ええる。

町長

一、広報や町政懇談会は選択による提供であり、希望するものを条例で保障することが大事だ。町の実態や問題点を理解頂きながら提案または町政参加してもらうためである。

二、条例案は県の地方課の指導によるものである。

三、入札等の情報が事前に公開すると問題も残る。あえて事前と入れなくとも良いと思っている。

四、永年保存の文書だけでなく大変量が多いが、将来整理のついた段階には公開の対象としていきたい。

五、議会には調査権もあり当然報告すべきである。

関連質問 白又正司議員(自民)

開かれた町政を執行されているのにかかわらず情報公開は条例、規則を設けてまで設置する必要でも生じたのか。町民に対してメリットがあり町政発展につながるの

地域経済に活性化を

本田 幸光 議員(自民)

問

活力ある町づくりを進めるには産業の振興がまず第一だ。それは企業の誘致により地域経済の活性化を図ることが急務である。幸い我が町は良質な水が豊富で立地条件に恵まれている。高度な技術を売りものとする企業の誘致、あるいは町の特産品に力を注ぐなど企業誘致の基本的姿勢について尋ねる。なお現在工場用地で未利用の所もあるが、そこへの立地、あるいは既存企業育成のため規模拡大する場合に有効利用させる考えはないか。

町長

活力ある町づくりのためには、公害のない付加価値の高い製品をつくる企業の誘致が肝要だ。本町は地下水が非常に豊富で、また北陸高速自動車道が共用開始となり輸



農業種工業団地

送の面でも条件に恵まれている。地域の特性をいかした電子部品、プリント板など付加価値の高い製品を作るような企業、あるいは機械の組立工場等誘致のために予算

問

今年度の農林予算額は一般会計の16.3%、9億4千22万2千円であるが、農業指導費は昨年比に比べ3千万円もの減額となっている。中でも米麦生産指導費はわずか100万8千円だ。地力培養事業、種子育成事業、60・9・9運動など強く叫ばれている現在、一体このわずか100万円余りでどのように消化し方向づけていくのか。いま全国的に「集落営農を強めよう運動」が展開中であるが、当町のこの促進費は残念ながら去年の、46万円だ。これでは各生産組合にどんなに「生産向上せよ」と言っても全く無理な話でないか。水田再編対策費についても大幅に減額となっ

町長

農林産業というのは町の基幹産業であり、予算編成の段階で最も配慮したところだ。生産組織、集落において農業の担い手となる中核的農家を中心として、自立性と創造性をそして連帯意識の中で活力が生み出され豊かになることを期待し、今年度は営農組織に対する設備投資として、新地域農業生産総合事業で大豆の対応機械あるい

活力ある農政を

野坂 俊一 議員(自民)

問

入善町は信仰の厚い土地柄で多数の寺院や神社がある。神社等には絵馬が奉納してあるが、県内ではそれらが美術的にも高く評価されてきている。入善町にも年代が古く美術的に珍しい、立派なものも多く、30周年記念の一つとして絵馬の展覧会を開く考えはないか。

町長

神社、仏閣などが所有している絵馬などの展示会を開催したらどうかというユニークな提案だが、新年度に早速実態の調査を行い、関係者、所有者の方の了解を得てぜひ展示会を開催したい。

は米麦種子専用機械の整備、それから集落農業構造改善事業により荒又地区に堆肥舎の設置をする。入善町は45年に農業振興地域の地域指定を受け、47年には農用地利用計画を策定、さらに農業生産基盤整備や農業近代化施設整備計画を作り、農振地域の計画的な整備を図り優良農地の確保を図ってきた。この農振計画も56年から見直し、58年8月に認可を受けており、今後総合的な振興計画として実施にあたっていきたい。

農政課長

昨年当初予算でみていた広域種子団地育成事業が、臨調がらみで翌年度まわしとなり、事業主体の設備投資事業として3千万円ほどの建屋を見込んでいたが取り組まなかったため、今年度は繰り越し



事業のうち種子専用のコンバインのみの計上となり、農業指導費がダウンの形となった。なお集落営農組織化促進事業費の46万4千円は、事業の指定地区に対しての補助金ということで計上されている。水田再編対策費については、59年度予算の見積り時は第3期転作の補助金要綱などまだ見定めぬ段階であり、58年度の実績の範囲で予算要求をした。

農務課長

農業所得の課税については、税務署単位で農業所得協議会を組織し、農業団体と話し合いの上標準課税を実施しているが、課税方式については収入金課税という意見も出ている。今後税務署、関係市町と協議をし農業所得課税の適正化を図っていききたい。

問 3万町民の生命と財産を守る消防団の活動には敬意を表する。総合訓練、分団訓練、年末警戒、春秋防火運動など我々の予想外の苦勞があるものと解する。団員報酬をもう少し引き上げるべきでないか。また現在消防団への入団者は年々減少する傾向にあると聞く。不規則時の出勤、そして危険が伴う仕事であるが、消防力基準数確保への育成策を尋ねる。なお家庭の防火管理、また幼児の防火しつけ教育の面からも非常に大切な婦人防火クラブへの予算はあまりにも少ない。消火活動で事故が発生した場合の補償ならびに福祉共済関係、更に市街地のように住宅密

集地が大火災となった場合、住民の避難場所、衣食住の補給措置、医療、防疫処置等は万全なのか。

町長

社会構造の変革にともない各市町村では、非常時の消防団の確保が極めて困難な状況にある。一番の問題は若い団員をいかにして育成、確保するのだが、今回団員の処遇改善を図るべく年間報酬引き上げのため条例改正案を上程している。また家族の日頃のご協力に對してわずかだが家族手当も支給

克雪対策を万全に

板川清治議員(自民)

問

先に、「雪に強い町の建設を目指す」と町長の説明があった。この克雪対策としてまず除排雪の面についてだが、除雪状態、時間の格差、あるいは各校下境目の問題等マンネリ化による不満が地域住民から出ている。民間業者への委託はその時代に相応した契約のあり方で行わなければならないと思うが、見直しの考えはないか。また先日、大山町の河川水を利用した画期的な消雪装置を見てきた。安い経費でしかも消雪、防火装置を兼ね一石三鳥の効果もあがるこの消雪方法は、本町でも場所によっては利用できるのではないか。なお流雪溝の設置についてだが、こ

しており、今後待遇改善に一層の努力をしていきたい。また消防団員出勤は公務災害の補償の対象になるが、その対象とならない婦人防火クラブは福祉共済により対応したい。

消防長

婦人防火クラブ育成のため、今後補助増額に向け一層努力したい。なお市街地で大きな災害が発生した場合の対応については、入善町防災計画に基づきそれぞれ対応していきたい。

町長

これは当然降雪前に工事をやるべきものと思う。

今年度は56豪雪に匹敵する大雪で雪害対策本部を設置し、除雪対応に万全を期して来た。我が町でも上青小学校通学道路の一部で河川水利用の装置を作り試行的に消雪をしている。設置条件が満たされる所は本町でも極めて少ないし、しかも地下水には一定の限度があり条件の整っているような所は河川水による消雪、あるいは幅員の狭い道路は消雪パイプで、あるいは機械による除排雪等今後も地域にあったやり方で対応していきたい。

建設課長

現在町、農道の除雪延長は約20



キロ、うち59キロは町直接で除雪、残り40キロ余りは民間36業者に委託している。マンネリ化防止のため今後も業者の委託内容、除雪路線等内容をよく吟味し対応していきたい。河川水による融雪装置設置については、当町の地下水は豊富だが、無計画に汲み上げもできないので、立地に格好の場所があれば、この消雪について目を向け検討していきたい。なお消雪工の施工時期については、我が町は58年度から2カ年の事業計画で無雪害街づくりに取り組んでいるが、第1年目の今年度は個所付けの決定に手まどったこと、またさく井工事に入ってから不測の事態が生じたため降雪最盛期に間に合わなかったためである。

問

我が町は良質米の生産地であるが農業の施策が非常に消極的だ。

農用地の殆どは砂質土壌で瘦せているが、地力増強のため節かきば踊るような思い切った土地作り運動をやったらどうか。

町長

米作りは言葉を変えていうならば、土作りだといわれており、農業における土壌作りというのは一番根本である。本町でも圃場整備の終了後水稲の反収が年々減少の傾向にあり、搬入客土、畜産農家との稲わらと堆肥の交換による有機質肥料の投入に努力している。農家の皆さんの土作りへの強い要望もあり、今後も機械利用組合のパワーデスクによる有機質の投入、客土田における地力培養調査圃の設置、あるいは集落農業構造改善事業による堆肥舎の設置等地方の増強と農業生産の向上を図りたい。

農政課長

最近では農家の方々も地域ぐるみで土作りに真剣に取り組んでおられ、パワーデスクの有効利用、搬入客土された場所での地力培養調査圃を設置し稲作の栽培技術を確認しこの普及を図る等、これらをモデルとしてさらに進めていきたい。

問 本町の職員の昇任については、ほぼ年功序列、トコロテン式だ。日常の業務成績も十分加味されなければならぬが、休まず、遅れず、働かずの三子主義防止と職員にやる気を起こさせるには試験は良策でないか。実施の具体的方法、時期等はつきりと聞かせては



老人福祉センター内

健康管理態勢を十分に

岩場 俊 議員(民社)

しい。地方公務員の定年制の問題、あるいは男女格差は正の問題、年功序列型の昇進など人事管理の面でいろいろ問題がある。現在役場の事務などにおいても近代的なものがたくさん導入され、それに対応できる素質、あるいは法令などの解釈の能力、部下の管理能力、起案など職員として高度な能力が大きく要求されることになった。地方自治行政の自主性と獨創性が強く求められている今、本町では係長になる時点で試験制度を導入したらと考えており、職員組合とも

合意に達すれば新年度あたりからこの制度化をしていきたい。また課長クラスへの試験制度の導入については、財政再建整備適用から除外された年に職員が一挙に採用されたため、職員の構成が必ずしも正常な形でないということもあり実施の考えでいたが、時あたかも雪害対策の非常に忙しい時期でもあったので少し延期をしい息入れようと判断した。議会が終わった時点で職員組合とも話を煮詰めながら合意に達すれば何らかの形で実施したい。

問 昭和60年の老齢(65才以上)人口は全国9.7%、富山県12.7%、入善町13.3%に達すると推定されている。国から見れば15年、県からは10年も老齢化が進んでいる。今後町はこの対策について施策の中にどのように生かされようかと考えるが、老人福祉センターがオープンするが、本町の健康管理の提点として有効に機能するよう運営を期待する。

町長 日本人の平均寿命は男74・2才女79・6才と非常に長く老人の構成比率も高い。これら実態を十分に認識し対応するのが政治の課題と受けとめている。この対応の一端として老人福祉センターを老人福祉あるいは社会福祉全体のセンターとして行きたい。医療費が高つくことは十分予想されるが壮年期からの健康相談、健康審査、リハビリ訓練などの事業を総合的に推進して行きたい。

問 老人いこいの家を提点として進められたガン以外の老人健康診査の受診率は51年の32%から57年の62%へと向上したことは評価するが、公的医療機関のない入善町にとってそれを補完する意味での健康センターの充実が求められている。ガンの受診率が低いのも健康センターではその機能を果たせないのもその原因でないか。昨年の12月議会に健康センターの増築整備に関し陳情があり議会はその陳情を採択している。老齢化社会あるいはガン受診の状態、ガン死亡率の増加傾向を考えると具体的対応を必要とする。

町長 入善町の老人健康審査の受診率は高く県下のモデルだと評価されており今後推進したい。個人病院などは改良されているが公立病院の設置は理想的だが建設費と建設後の経営状態を考えると不可能でないか。これをカバーする意味での予防保健に努力しなければならぬ。そういう意味で健康センターが重要視されるので中央公民館の取りこわした後、増築など含めて検討したい。センターが拡張整備された後、保健指導する医師を町職員として配置ということも考えている。

雪下の作物対応は

白又正司 議員(自民)

問 富山県では健康増進センターを56年9月にオープンさせた。健康増進、検診コースなどがあるがコンピュータなどを使ってその日の内に個人に合った日常の健康生活について指導されるということ

だが、この様な施設の誘致について考えはないか。

町長 県の健康増進センターの一日ドックに2回入ったが大要立派な施設だ。県民全体がそこを利用するのではなしにあと東西に2ヶ所位あっても良いのではないかと考えている。増すようであれば誘致に努めたい。



社会教育課長

この建物の概略は御小休所は間口6間、奥行き5間、30坪で木造、トタン葺きの平屋建。茶室は間口2.5間、奥行き3間、8坪で木造、

瓦葺き、平屋建である。早速函面等の配布をしたい。

問

これからの農業情勢と問題について町長の意向を尋ねる。まず地域ぐるみの農用地利用調整活動、中核的農家の育成、効率的な生産組織の育成等集落営農展開をどのような形で結びつけていくのか。さらに農地銀行機能充実についての具体的な施策を聞きたい。

また今年は大雪のため麦、球根等がまだ雪の下に埋もれている。雪積寒冷の特殊地帯である我が町の農家は、折角転作をした作物がどうなるのか、この状態では人力をかけ除雪しても収穫が少ないのではないかと、転作として認められるだろうかと非常に心配をしている。どのように対応されるのか。なお流通販売競争の今日、当町でも新品種の稲作等取り入れ、自分達の作った米の直販を推進するなど農家収益がよりプラスになる方法は考えられないか。

町長

農地銀行は農地の流動化を促進して大規模農家を育成し、その地域における中核農家としていくという事で設置されたが、現実には農家の方は土地に対する愛着心があり、農地の流動化、専業農家の育成に大きなブレーキになっている。現在第2種兼業農家がほとんど増えている現状であり、中核農家や専業農家だけに重点をおくのではなく一番層の厚いこれらの農家をも含め、どのような形で指導

していくかが一番肝要だ。また今はまだ雪が沢山あり下になっていく大麦や球根など腐敗や病気の発生が心配される。融雪、除雪あるいは雪どけ水を速やかに排水させるなど、共済組合、農協、普及所等と連絡を密にし特報などにより徹底したい。なお、いわゆる収穫が皆無の場合でも刈り取らなければ転作の対象とならないという現行制度の改善についても、県と十分意見の交換をしたい。米の産地と消費地との直販方式という提案

学校統合について

佐藤 学 英 議員(自民)

問

教育効果の向上、学校経費の増高から国、町でも審議会がつくられ教育問題が審議されているが、次の諸点を尋ねる。

- 一、学校統合により校舎が鉄筋化されてきたが、県内では下位にランクの状態だ。この実態をどのように考え今後対処されるか。
- 二、小学校は58年、中学校は62年をピークに生徒数は減少するが、今後適正規模や住民一体となり統合を含めた学校整備計画、学校建設の推進にどう対応するのか。
- 三、入善町教育問題審議会での横山、柗山、入善小学校の3校を2校、舟見、野中小学校を1校にするべきであるという答申を今後どのように検討、啓発されるか。

は望ましいことだが、食管理法による販売ルートということもあり、町の段階で努力してもいかんともしたがたい問題である。
農政課長
農業は町の基幹産業であり農業生産の後退をさせることはできない。農業の担い手、中核農家を中心として地域ぐるみの生産活動を促進し、集落の機能に応じ農地の集積と効率のよい低コスト農業の推進に努めたい。

- 四、統合された新築校と残された在来校とは施設整備の面での格差がある。これ等が教育効果に波及し影響するとなれば問題である。その辺の対応は。
- 五、小、中学校の修繕費は徹々とるもの、増額する考えはないか。
- 六、統合審議会委員の報酬を削除したのはどのような見地からか。

町長

一、鉄筋化された近代的校舎と格差を是正するため一応の予算は見ている。建て替えるには、国庫補助は改革ま、統合も補助である。金だけでは解決できないが地域住民の意向を尊重し対応したい。
二、59年度から3年継続事業で飯野小学校の改築工事を実施、61年の4月に開校予定、残る校舎5校

- はどのような年度、形、時点で建設するか決定されていない。
- 三、横山、柗山、入善で2校が望ましいと言う事であるが、地元の世論、動向、将来に渡る生徒の増減を見極め総合的判断をしていかなければならない。
- 四、今までより大幅な修繕のため予算計上している。教育効果の差という形で出てこないように努力していきたい。
- 五、実状に応じ財源のゆるすかぎり補正追加したい。
- 六、学校の統廃合審議会というものがなくなった。それに代るべき教育問題懇談会が設置されたので削除したものである。

常任委員会審査報告

定例会において議案32件、請願3件、陳情1件が各委員会に分割付託された。慎重審議の結果、議案は29件可決すべきものと決したが、「入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正」「入善町情報公開条例の制定」「入善町手数料条例の一部改正」議案は引続き所管の委員会に継続審査すべきものとされた。審査の過程で出された要望、意見は次のとおりである。

総務

委員長 若島信行

- 意見
一、昨年に続き財政再建第二歩とされる政府案は前年比0.5%増
と29年ぶりの超緊縮予算である。今地方に課せられた課題は自ら行



横山小学校

産業建設

委員長 野坂俊一



政改革に取り組み最少の経費で最大の効果を上げていく努力が最も重要だ。

一、町税は前年比10.3%伸びたが、町民の血税であり有効な活用が大切である。

一、交付税、地方税、国県支出金の財源が伸びず繰入金、町債に頼らざるを得ない。公債及び債務負担行為を合わせ59年度では16.5%と黄信号になっている。なお一層の計画行政を期待する。

一、請願、陳情などでの未施行の生活環境整備や農業問題など住民ニーズへの対応、町民会館、学校、体育館建設など重要な問題が山積している。総合計画が立てられたが実施計画、そして予算とその積算は変わっている。理解できる面もあるが今後歳入の見積りに当たっては長期展望に立つて今一度査査されたい。

一、地下水状況調査を委託しているが、地下水と黒部川表流水との因果関係等解明出来ないか期待する。

一、町が直接、間接を問わず関係する事は地元業者への発注等配慮を要する。

一、入善町情報公開条例の制定については6月定例会まで具体的実務に入っているの検討する必要上、継続審査とする。

一、各種委員会委員の報酬等並びに入善町手数料条例の2件は金額及び主旨には異存のないところだが、情報公開条例との関係があり継続審査とする。

意見

一、59年より始まる第3期転作は補助金の減額、他用途米の導入など大変きびしい。農政に対し抜本的施策をもつての対応を考えられたい。

一、働く婦人の家建設に向けては利用者の意見を十分聞き計画し早期補助金の獲得に努力されたい。

一、労働者のサラ金対策として今年初めての試みに勤労者信用基金協会特別預託金として10万円預託されたが、その貸付利率10%は現行の地方銀行や農協金融と比して高率とも思える。今後利率の引き下げ等労働金庫側と交渉していく必要がある。

一、農業銀行の設置補助金を計上したがこの取り組みが終了する61年度以降どうするのか対応も必要だ。関係機関と十分相談されたい。

一、横山地区で農村整備事業が施行されるが除外されている土庫部地区をはじめ入善町全域にわたる

文教厚生

委員長 西尾三郎



意見

一、幼稚園ができることによつて保育内容に違いが出てくる。幼児教育レベルアップを図って行くことへの対応が重要である。

一、保育所園児は減少状態にあるが今後3才未満児保育の充実に力を注がれたい。

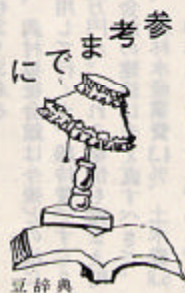
一、児童館は単に中央に一ヶ所だけではなしに、今回の飯野小学校の不幸な事件を反省し各地区にあるコミュニティーの場を分館として利用され、施設の充実を図ること

とも今後検討されたい。

一、飯野小学校の建築に当たっては一層環境の良い学校にされることを望むが、特に緑の中の教育も叫ばれており町木、町花に合わせ配慮願いたい。また地元建設業者も工事参加できるように願いたい。

一、公的な医療機関のない入善町にとつてはそれと変わるべき健康増進センター的機能をもつ施設が今後問題として必要となるので検討されたい。

参考



豆辞典

議会だよりは大変解りにくい用語が使われていますので、今回の議会だよりから2、3例ずつお知らせします。

○一般質問
議員が執行機関(町)より提出された議案にとらわれることなく行政全般にわたつて説明を求めるとをいいます。

○討論
議員が議案に対して賛成または反対か議決前(通常過半

とも今後検討されたい。

一、老人福祉センターは今後老人社会の拠点として機能發揮する福祉行政の方向づけが大切だ。よりベターな方向はないかの検討されたい。将来は福祉大学を卒業した専門職の採用も必要でないか。

一、今回寄付された明治記念館(米沢三郎翁筆墨、明治天皇御小休所)の管理運営に当たっては記念館としてふさわしい内容の充実と管理が必要である。

○公債費

町が第三者から資金の借り入れを行うことによつて負担する長期にわたる借金を返すべき元金利息を含む費用です。

この借り入れは町単独で出来るものではなく県の許可を必要とします。また公債費比率は一般財源の額に対し15%以上だと黄信号といわれ20%以上になると借り入れが制限されます。

○債務負担行為
町は土地改良区などが事業を行う為補助金を一度に出すことが出来ないで、補助金を土地改良区などの名義で借り入れしていることをいいます。

そのほか、町の道路事業などで非補助によつて施工するとき、改良区名義で借り入れしてあるものもあります。

議員が議案に対して賛成または反対か議決前(通常過半

反対

九里郁子

一、中曾根内閣は国家財政の赤字穴埋め軍備拡大の予算を増やすため社会保障、教育費を削っている。このことが我が町の地方交付税、国県支出金減額につながっている。母子、父子家庭の医療費の助成対象年令の引き上げ、教育面では中学校修学旅行付添費の増額など各所に評価出来る面も見られるが、行革の政府方針に添った予算になっている。特に議員や町長等の報酬の値上げは止め、町民生活を守るために週すべきでなかったか。

一、情報公開条例案は真に町民の知る権利を保障するものになっていない。入手した情報はみだりに見せるなどか、解釈の如何で適否の判断がどちらとも取れるとか、58年4月以前の情報は永年保存に限定するなど、本当に情報公開をやる気があるのか疑念とする。

一、入善町長公営立会演説会条例の廃止は選挙法の改正によって削除されたが禁止事項にはなっていない。国民の目や耳や口を塞ぎ国民主権と議会制民主主義の根本への重大な挑戦であるこの悪法を追認する訳にはいかない。以上の立場から一般会計予算、議員報酬、町長等の給与、入善町廃棄物の処理及び清掃に関する条例に反対する。また情報公開条例案については真に町民の知る権利を保障する内容に修正すべきである。

賛成

佐藤学英

昭和59年予算は地方交付税及び国県支出金が落ち込んでいるところだが、新総合計画、町民会館建設など町民の要望に応え努力された。

一、繰入金4億9千万円を差し引くと実質前年比11%の減額と過去3年間の最低である。56年以降年々減額される国県支出金等町長の政治姿勢にも一因があるのではないか。精力的に陳情され各種事業の獲得に努力された。

一、債務負担行為を含めた公債比率は16%に達した。これの上昇に歯止めをかけるべきである。

一、町民の最も要望する投資的経費は前年より5.6%下廻っている。町車では伸びているものの道路整備費は前年より減額されている。今後の努力を願う。

一、墓地公園特別会計は苦しい財源に拍車をかけている。一層のアイデアが必要である。

一、議員並びに町長等特別職報酬値上げは時代の要請に即応するものだが、更に町民ニーズに配慮することが大切である。

一、情報公開条例を制定するには幾多の問題点もあり最善の条例とするためにも継続審査とすべきは当然である。

一、農村基盤整備事業から除外されている古黒部地区の対応に配慮されたい。

賛成

福沢万次

一、寄付された明治記念館は真に町民の文化活動の場とし内容の充実を図らねばならない。

一、町の厳しい影響を受けた今年度予算は大型プロジェクト事業の完了とはいえ新総合計画初期においてローリングの要があるのではないかと危惧する。

一、町債の減額は公債比率の増高に歯止めされたものとして評価する。

一、歳出で義務的経費が伸び投資的経費の補助事業が落ち込んでいるので事業獲得に努力されたい。そのため農免道路、無雪害街づくり事業の拡大、町民会館の着工に精力的に取り組まれた。

一、毎年変わる猪の目農政、農家の不信、生産意欲の減退等生じている。農業基盤の安定に強く国に要請されたい。

一、高齢化社会を迎えて老人保健医療費は年々伸びる状況にあるので予防と乱診、乱療に歯止めを要望する。

一、議員報酬の改正は2年据置きでもあるが今後報酬審議会の答申といえども慎重に取り扱われたい。値上げよりも調査活動費の配慮を要望する。

一、情報公開条例案は県下でも初めての事であり細部の解釈に疑義があるとの意見も聞くが、不備な点があればその都度訂正を加えることも出来る。原案に賛成する。

賛成

大林政雄

議案及び請願、陳情について各常任委員会の報告のとおり賛成するが次の諸点について行政に反映して頂きたく意見を申し添える。

一、新総合計画において59年の国庫支出金が10億7千万円、昨年の11月のローリングで7億3千万円、今回の予算では4億3千万円と大幅の目様に変わっている。どのような視点に立って計画されるのか見通しの甘さが感じられるので注意する。

一、町長が真に行財政審議会を尊重するならば町政に反映すべきである。答申とは逆に補助金の倍額団体も2/3ある。

一、武村福祉会館は今後どの様に使用して行くか。維持費ですら2千万円だ。これら事情も踏まえ町民会館の建設は考え直すべきだ。

一、農林水産業費13%、土木費5.8%と昨年よりマイナスである。上局との折衝によっては多少防げたのではないか。

一、詳しく説明せずして情報公開条例案のみを以って決して欲しいとは議会軽視だ。また条例案に町民以外の公開とあるがこれによって町政を混乱される恐れがある。

一、国保会計に余裕もある。助産費や葬祭費の増額など内容の充実を図るべきである。

一、墓地公園会計6千300万円の借入金高利だ。一般会計で償還すべきである。

編集後記

観測史上最長の根雪日数一〇九日間を記録したことがまるで嘘のような暖かな時節となりました。

今年の田植えは昨年より4、5日遅れとなりましたが順調に成育し無事に実りの秋を迎えることを念願致します。

国の行革、赤字国債などの波及で地方財政は諸に影響を受け国庫支出金、地方交付税など思うように収入が見込めないため大変苦しくなつて来ています。

しかし道水路など町民ニーズに應えることや今後の学校建設事業や町民会館建設など多額の費用を要する事業が目の前に山積しており、これが補助金獲得に議員一同当局と力を合わせ努力して行かねばなりません。

一方明るいニュースとして企業の拡張の話も出ておりこれが活力ある入善町づくりの糧になるものと期待しています。

6月定例会も間もなく開かれます。町民の皆様で町政への取り上げすべき事や要望がありましたら、私たち議員に提言して下さいようお願いいたします。

議会だより編集委員

- 上田 義信 野坂 俊一
- 大林 政雄 石川 昭男
- 若島 信行 岡島松次郎
- 西尾 三郎 九里 郁子